

述べた仮説のような状況で一応満足されるのであるから、できるだけ表現は簡単に割り切らなければならない。航空予報担当の予報官としてはこの点を充分承知のうちジェット機航運に満足されるならば、精度を落としても、使い易い資料にすることが必要である。

次にこの Vertical Wind Shear 図を予報図にする必要がある。これは現状では外そう法以外におこなわれていないが、このような予報図の作成こそ、数値予報の適応が効果的におこなわれるものと思われる。現用の外そう法の要点は、前述のようにシャーパターンはジェットパターンと関係が深いから、ジェットパターンによってシャーパターンが決まるといってさしつかえない。したがって 300mb 及び 200mb 天気図の予報図の作成が基礎作業となる。300mb 及び 200mb の予報図によってジェット軸が予想され決定されれば、その上にシャーパターンをのせることによって大きな間違いはでてこな

い。予報図の作成については別の機会にさらにふれてみたい。

参考文献

- 1) W.M.O. Technical Regulation [12. 2] 2.5.2.4.
- 2) The Tropopause Vertical Wind shear Chart-It's Operational Usage  
S.G. Sinplicio (Supervising IAFS Forecaster)  
U.S. Weather Bureau Technical Manual
- 3) A Clear Air Turbulence Analysis and Forecast Procedure Used in the U. S. A. E. W. Frey. Regional Association II Third Session Report, WMO 1962. III-RA II/INF 4.
- 4) 高々度気象解析, p. 112 風速の垂直シャー 杉本豊, 航空気象学文献抄, 第6巻 1, 2, 3月合併号
- 5) 最大風速層および Wind Shear の解析と予報, 杉本豊, 小野けい子, 東東航空気象台 技術報告 1962. 9月
- 6) Forecasting Manual for the Jet Stream over the Pacific. PAA Technical Publications.

日本気象学会九州支部昭和38年度第1回講演会および西部管区気象研究会

会期 5月7, 8日

会場 鹿児島市下荒田町 鹿児島県婦人会館

講演題目	所属	氏名
1. 長崎県における波浪注意報と警報の発表基準	長崎	城間 恒信
2. 宮崎県の気象災害の調査	宮崎	伊藤 剛男
3. 大分県の風水害	大分	笠村 幸男
4. 宮崎における一点観測による震源誤差	宮崎	安井 豊
5. 長崎付近の地震	長崎	坂本 琢磨
6. 台風6213風号のレーダーおよび天気図解析	種子島	広森 章
7. 台風6228号のレーダー解析	名瀬	井田 秀治
8. 異常低気圧のレーダー解析	鹿児島	稲垣 豊秋 内村 進
9. 南北に伸びる帯状エコーから低気圧性エコーへの推移	種子島	石硯 浩章 広森 章
10. 温暖前線に交わるレインバンド	鹿児島	大迫 盛夫
11. 福岡におけるマイクロウェイブの異常伝ぱんと気象	気象協会	深渡 瀬征男
12. みかん産地の微気象的観測	下関	赤井 清康
13. 冬期間における体感表現のための指数	気象協会	小林 義男
14. 熊本県の火災と気象	熊本	古閑 賢一 吉住 孝行
15. 巖原の北東風について(1)	巖原	生駒 進
16. 種子島の気象特性	種子島	品川 昌平

17. 名瀬, 沖永良部および徳之島の天気について	名瀬	福田 一世
18. 低気圧と寒冷前線による熊本の降水の始終について	熊本	坂本 暢哉
19. 緑川上流の降雨特性	〃	保田井 勳
20. 菊池川の洪水予報	〃	古閑 賢一 吉住 孝行
21. 不安定線を生ずる気塊の特性	〃	木下 正時
22. 500mbの日高度平年偏差と天気ベース	下関	中島 輝之
23. 有明海における高潮調査	佐賀	東島 茂 早田 正美
24. 台風および低気圧の寿命について	福岡	黒木 義秋
25. 台風圏内における気象要素の数値的分布(統報)	〃	富高 四郎
26. 種子島地方における台風の特性	鹿児島	中尾 広次
27. 九州西方海上における寒気の吹きだしに伴う不安定について	鹿児島 福岡	竹永 一雄 植村 八郎
28. 梅雨の予想法(その2, その3)	福岡	香原 信義
29. 冬の寒暖予想法(その1)	〃	〃
30. 九州における降雨量の長期変動と予想	〃	〃 村田 芳幸
31. 死亡と気象との関係(3)	宮崎	安井 豊 高橋 岩夫 藤井 文雄
32. 日向灘の気象による海難の調査	〃	〃 菊地 重信 荒木 一好